

グレン・クロース ◆ ジェレミー・アイアンズ

結ばれた時からふたりの運命は決まっていた。

夫と妻をいっしょに殺した男の物語



運命の逆転

エドワード・R・プレスマン・プロダクション/松竹富士株式会社共同製作作品

監督:バーベット・シュローダー

グレン・クロース ◆ ジェレミー・アイアンズ ◆ ロン・シルバー

原作:アラン・ダーショウィッツ(二見文庫刊) ◆ 脚本:ニコラス・カザン ◆ 製作:エドワード・R・プレスマン/オリバー・ストーン

撮影:ルチアーノ・トヴォリ ◆ 音楽:マーク・アイシャム ◆ 衣装デザイン:ジュディアンナ・マコフスキー

提供:フィーチャー・フィルム・エンタープライズII ◆ 配給:松竹富士株式会社

REVERSAL
OF FORTUNE

運命の逆転



**クラウス・フォン・ビューロー、貴族。
妻サニー殺害の容疑で告訴。**

その男は、人を、女性を、ひきつけずにはおかない魅力を持っていた。育ちのよさを示すクイーンズ・イングリッシュ、紳士然とした身のこなし、仕草。そして、なにより深い瞳の印象的な端正な顔立ち、姿。しかし、その

果たして、白か黒か？

男はそうした容姿の奥に、危険な匂いを漂わせていた。クラウス・フォンビューロー、貴族。彼は、億万長者の妻を植物人間にした罪で世論の非難を浴びながら、無罪を訴えつづける。果たして、彼は白か黒か。

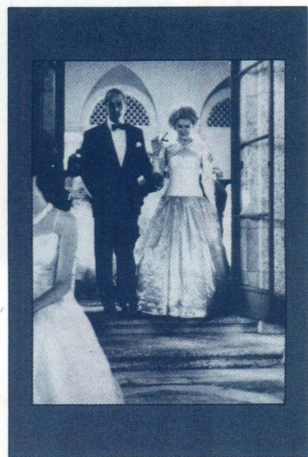
全米をゆるがせたトウル・ストーリー

1980年クリスマス、アメリカのハイソサエティをセンセーションにまきこんだクラウス・フォン・ビューロー事件の、これは大胆なる映画化である。現在も、被害者は植物人間として生き続け、フォン・ビューローも関係者も健在。『持てる者』ゆえに深い頹廃と絶望に自らを追いこむ夫人と、その『罠』にとらわれもがき続けるフォン・ビューロー。

事件の弁護を引きつけたユダヤ人教授アラン・ダーショウィッツの眼が、ふたりの絆を露にしていくな。遺産、セックス、ドラッグ。ゴージャスなライフ・スタイルの裏側にひそむ荒涼たる心情。これは悲しみとスキャンダルにみちたメロドラマであり、ミステリーの一級品でもある。

**エドワード・R・プレスマン &
オリバー・ストーンが挑んだ超大作！**

製作は『Uボート』『ウォール街』と話題作を連発するエドワード・R・プレスマン、『ブラトーン』7月4日に生まれてのオリバー・ストーンが共同で担当。監督はフランス出身の実力派バーベット・シュローダー。そして、何といても話題はフォン・ビューローを演じるジェレミー・アイアンズ(『フランス軍中尉の女』『戦慄の絆』)。この謎めいたキャラクターに近づけるため自らの肉体に手を加えて、なりきってみせる。アイアンズの妻サニーに扮し、女心の悲しさ、傲慢さを見せるのが、『危険な情事』『白と黒のナイフ』等、アメリカ映画界随一の實力をほこるグレン・クロウズ。この2人の強烈な個性に、弁護士役として『ブルー・スチール』のロン・シルバーが大熱演で応えている。



◆スタッフ◆

プロデューサー.....エドワード・R・プレスマン
オリバー・ストーン
監督.....バーベット・シュローダー
原作.....アラン・ダーショウィッツ(二見文庫刊)
脚本.....ニコラス・カザン
音楽.....マーク・アイシャム
撮影.....ルチアーノ・トヴォリ

◆キャスト◆

サニー・フォン・ビューロー.....グレン・クロウズ
クラウス・フォン・ビューロー.....ジェレミー・アイアンズ
アラン・ダーショウィッツ.....ロン・シルバー
サラ.....アナベラ・シオラ
マリア.....ウタ・ハーゲン

新春2月2日(土)ロードショー

☆特別鑑賞券絶賛発売中！

一般¥1,300/学生¥1,100/ペア・チケット(お2人で)¥2,300

丸の内
ピカデリー1
(3201)2881

新宿
ピカデリー1
(3352)1771

渋谷
ピカデリー
(3464)0051

横浜
ピカデリー
045(261)2886

川崎
チネグランデ
044(211)6125